

いただきます 元気 ながさき おいしか県

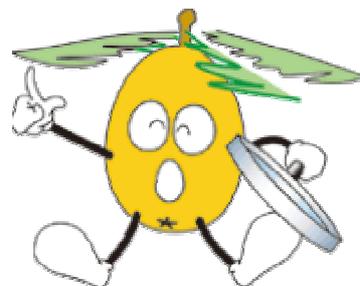
びわ太郎食育通信

平成21年1月8日 第6号 長崎県食育・食品安全推進室
電話 095-895-2366 F A X 095-824-4780



こんにちは びわ太郎です！

2009年のお正月、皆さんはどのように過ごされましたか～？
親しい方々と美味しいお料理を囲んで、色々なお話をしながら
楽しいひとときを過ごされたのではないのでしょうか。
皆さまにとって良い一年でありますように
本年も「びわ太郎食育通信」をどうぞよろしくお願い致します！



食育推進研修会及び食育推進地域ネットワーク会議を開催しています。

前回の「食育通信第5号」でもご紹介しましたが、現在、県内7地域で「食育推進地域ネットワーク会議」を開催し、情報交換を行いながら食育関係者のネットワーク化と連携・協働体制の確立を図っています。また、食育の分野において活躍されている講師をお招きし、「食育推進研修会」を開催し、食育に関する理解と関心を深めています。

今回は11月と12月に開催された3地区の研修会及びネットワーク会議の内容についてご紹介します。

< 県央地区（県央保健所2階研修室） 11月18日（火） >

【研修会】～概要～

講演「家庭と学校をつなぐ食育」

波佐見町立南小学校 福田泰三 先生

波佐見町立南小学校では、子どもの食行動を変えるため、17項目からなる「食生活チェックシート」を活用し、朝の体温が上がるような食生活に切り替えることで子どもの心と体の改善を図る活動を行っています。17項目の中から3項目を1ヶ月間実践することにより、子ども達は食について意識し始め、また、子ども達自ら台所に立ち、みそ汁を作る「みそ汁の日」という取り組みにより、家族との会話も増え、早寝早起きが出来るようになった。低体温も改善され、集中力も増し、結果、学力向上にもつながっています。

学力は点数だけではなく、学ぼうとする力、学べる力であり、台所、くらしの時間を大切にすることから始まります。「頑張ること」とは、顔が晴れ晴れすることを言います。食育の基本は、自分で食事が作れるか。現在、子ども達は「おむすびの日」に取り組んでいます。



<研修会>



【ネットワーク会議】～概要～

主な報告・意見

<ネットワーク会議>

各団体・委員より食育に関する様々な活動報告がなされました。

その後の議論では、食育は親による部分が大きいこと、地域の方の協力が必要不可欠であるといった意見が交わされ、最後に福田先生から、食育は身近で楽しいもの、母親から母親へつながっていく、そのきっかけ作りを私たちから、という助言がなされました。



いただきます 元気 ながさき おいしか県



< 対馬地区 (対馬市中対馬開発総合センター) 11月26日(水) >

【研修会】～概要～

講演「我が町の子どもたちのためにあなたにもできる食育とは」

森の新聞社主筆 森千鶴子 先生

農・漁・食の各分野の取材・執筆をしながら九州各県の地域づくりの取組を行っています。「食の文化祭」「ばあちゃんと孫の料理教室」「魚まつり」など、各地域において様々な取組があります。食育はあたり前の暮らしの中にあり、あたり前の暮らしの中で伝えていくものです。



< 研修会 >

地位や、肩書きや、立場を越えて
我が子に、孫に、めいっこに、
これから生まれる自分の子に
あなたが伝えたい食を
あなたが獲りたい地域をつくる
食育は、あたりまえの、暮らしの中に
では、そのあたりまえの暮らしを
どう伝えるか？
こどもたちに、大人に、若者に、



< 森先生の資料より >

【ネットワーク会議】～概要～

主な報告・意見

各団体・委員からの食育に関する様々な活動報告などをもとに、活発な議論が交わされました。学校給食現場での地場産物使用に関しては具体的な要望や提案がなされ、アドバイザーとして参加された森先生からは、生産者も学校も保護者も、まず、子どもに何を食べさせたいのかをもう一度考えてみるのが大切だという助言がなされました。



< ネットワーク会議 >

< 県南地区 (県南保健所 2階会議室) 12月19日(金) >

【研修会】～概要～

講演「こうしてつなげた霧島食育ネットワーク」

NPO法人 霧島食育研究会 千葉しのぶ先生

平成16年に鹿児島県霧島町(現 霧島市)において「食を大切にする文化をこの霧島で作る」ことを目的に「霧島食育研究会」を設立し、現在15名のスタッフで活動を行っています。

霧島で昔から食されてきた料理を教わる“レシピの無い料理教室「霧島たべもの伝承塾」”(毎月1回)や、植え方から食べ方まで1年を通した農作業体験(栽培～収穫～調理・加工)ができる教室「霧島・畑んがっこ」などを開催。年に1回開催する「霧島・食の文化祭」は家庭料理の持ち寄りの文化祭で、各料理には作った人のコメントが添えられている。“早く亡くなった母から教わった唯一の料理『たくあんのちらし寿司』”などと、150の料理があれば150の思いがあります。優劣を付けることはせず、最後は皆で料理をいただくようにしています。究極の食育とは、「おながすいた！今日のごはんはなにー？」と子どもが駆け込んでくるような、1人立ちした子どもが「うちのあの料理が食べたい」と思うような環境作りだと思っています。



< 研修会 >

【ネットワーク会議】～概要～

主な報告・意見

各団体から意見を言ってそれぞれの立場を理解することが大事、知り合いになったところで連携する、ここで顔見知りになったことが一つの効果である、といった意見が出されました。最後に千葉先生から、食育のこだわりを捨てる、地域の子ども達にどんな問題があるのか共通認識を持って、1つの問題に決め、自分たちに何が出来るかプログラムにしてみてくださいという助言がなされました。



< ネットワーク会議 >



< 今後の食育推進ネットワーク会議及び食育推進研修会開催予定 >

【西彼地区】1 / 28 (水) 長崎県農協会館 講演会(13:30～15:00) : 西日本新聞社 編集委員 佐藤弘氏
講演はどなたでも聴講可能ですので、室へご連絡のうえ奮ってご参加ください。

いただきます 元気 ながさき おいしか県



食育ボランティア活動報告

こんな取り組みをしました。

矢口さん（長崎市） 北川さん（諫早市）

11月15日（土）、16日（日）に長崎市の水辺の森公園で開催された「2008ながさき実り・恵みの感謝祭」に「食育ボランティア活動」の一環として参加しました。15日の当日、食育・食品安全推進室の出展ブースにおいて、来場者に対し

「食事バランスゲーム」を行いながら、バランス良く食事を摂ることの大切さを説明しました。
～最終ページにもイベントの紹介をしていますのでご覧ください～



<来場者に説明するお二人>

直売所 とれたて市場（西海市）

昨年は、西海市立大島西小学校において、たまねぎの収穫やいもさし作業、田植え、いもの収穫などを行いました。

佐世保男の食クラブ（佐世保市）

12月に会員を対象にクリスマス料理を作る調理研修会を行いました。また、3月20日（金）にはスピカまつりにおいて男の食クラブ定番料理である「させば汁」の試食会を一般の方150名を対象に行う予定です。



地域からの発信 こんな活動、あんな活動、皆さんの活動に役立てて下さい

こんな取り組みをしました。

さくらんぼ保育園（長崎市）

11月6日に保護者の方を対象に「給食試食会」を開催し、給食献立の説明や3分間クッキングを実施しました。最後には意見交換を行い、皆さんから感想をいただきました。

松浦市立福島中学校（松浦市）

11月25日に1年生の生徒全員33名で「お魚教室」を実施しました。松浦で捕れる新鮮な魚（あじ）・いかを包丁でさばき、調理することにより、食べ物のありがたさを学ぶ貴重な実習となりました。

平戸市立志々伎小学校（平戸市）

10月31日に全校児童と保護者の方々を対象に、学校保健委員会の活動として「親子料理教室」を開催しました。児童・保護者・先生のみんで協力しながら、カルシウムたっぷりの『歯にいい料理』をたくさん作りました。また、栄養教諭・職員による講話「歯によい料理」を聞いて、カルシウムと共にビタミンD（きのこ）も一緒に食べると歯が強くなることも学びました。



平戸市立山田小学校（平戸市）

11月6日に全校児童158名を対象に、館浦漁港（平戸市生月町）の特産であるシイラ（現地名ヒウオ）を子ども達に見せながら、地元漁師の方々から「お魚の話」を伺いました。また、11月10日にはその「シイラ」を用いた料理「シイラのプロバンス風ソースがけ」を給食で出し、地産地消の特色ある取組として新聞等（11/7 西日本新聞）にも紹介されました。

いただきます 元気 ながさき おいしか県



食育関係のイベントが開催されましたのでご紹介します！

11/15, 16 「実り・恵みの感謝祭」が開催されました。

「食育ボランティア活動報告」の中でもご報告がありましたが、11月15日(土)16日(日)に長崎水辺の森公園において、「2008 ながさき実り・恵み感謝祭 ~ふるさとの食につぼんの食 長崎フェスティバル~」が開催されました。この感謝祭は、生産者と消費者の交流を図りながら「農産物の実り」と「水産物の恵み」に感謝するとともに、新鮮でおいしい旬の県産農林水産物の展示と即売を通して、地産地消の推進と長崎県の農業・漁業への理解を深めてもらうことを目的として毎年開催されています。



<オープニング>



<皆さん並んでいます！>



<真剣に取り組まれています>



<食事バランスゲーム>

様々な団体の出展ブースが並ぶなか、室でも“食育推進”と“食品の安全・安心”をテーマにブースを設け、長崎市近郊にお住まいの食育ボランティアさんのご協力を得て、2日間のイベントを無事に終了いたしました。ブースでは写真にあるようなコマを使って「食事バランスゲーム」を行ったところ、ご年配の方からお子さんまで皆さん熱心にゲームに取り組まれて、日頃の食事がバランス良くとれているかどうか真剣に考えていらっしゃいました。皆さんの今後の食生活に少しでも役立てていただければ幸いです。ご来場の皆様、ご協力いただいた食育ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

11/30 「2008 長崎の環をつなぐ『食育祭』 教育ファームの成果発表会」が開催されました。



11/30(日)長崎ブリックホールにおいて、「長崎の環をつなぐ食育の会・大地といのちの会」主催の「食育祭」が開催されました。

室では、会場の一角にブースを設けさせていただき、食事バランスガイドを使ったゲームを用いて、バランスよく食事をとることの大切さをアドバイスしました。



<室のブース>

~事務局からのお知らせ~

冊子「長崎県食育ボランティア利用の手引き(仮称)」を作成予定です。



室では、平成19年度から導入している「長崎県食育ボランティア登録制度」について、より多くの県民の皆さんに知ってもらい、活用していただくために、冊子を作成する予定としております。食育ボランティアの皆さまには既に原稿のもととなる資料をお送りしておりますので、どうぞご協力をお願いいたします。

「食育通信」に掲載する食育活動の情報をお寄せください

【送付先】〒850-8570

長崎市江戸町2-13 長崎県食育・食品安全推進室

TEL: 095-895-2366 FAX: 095-824-4780

Eメール: s03190@pref.nagasaki.lg.jp

【室のホームページ】<http://www.pref.nagasaki.jp/shokuhin/index.php>